



▲歌劇「皇帝ティートの慈悲」序曲など4曲を披露した指揮者と楽団員たち

3 / **1**

迫力の演奏に感動

登別市市制施行50周年記念事業
第528回ほくてんファミリーコンサート

3月9日(火)、『札幌』の愛称で親しまれる北海道唯一のプロ・オーケストラ『札幌交響楽団』による『第528回ほくてんファミリーコンサート』(北海道電力株式会社主催)が開かれました。同コンサートは、道民の皆さんに本格的なクラシック音楽を気軽に楽しんでもらいたいとの思いで、昭和48年から全道各地で開催されており、今回は、登別市市制施行50周年を記念して、5年ぶりの登別開催。

会場となった市民会館に来場した105人の観客たちは音色に酔いしれ、曲が終わると場内は盛大な拍手に包まれました。



▲記念給食を堪能する子どもたち(写真は富岸小学校)
◀『おめでとう』の文字が刻まれた厚焼き玉子

3 / **9**

特別な給食でお祝い

市制施行50周年記念給食

3月10日(水)、今年度最後となる『市制施行50周年記念給食』を市内小中学校で提供しました。市は、今年度、児童や生徒にとって50周年の節目の年が記憶に残るようにと、登別市や登別市とゆかりのある地域にちなんで考えた献立を定期的に提供してきました。

10回目となる今回は、卒業と市制施行50周年をかけた『おめでとう』という焼き印入りの厚焼き玉子と、のぼりべつ豚を使用した『のぼりべつ豚丼』。

給食を味わった西村猛琉さん(富岸小学校)は、「のぼりべつ豚がやわらかくておいしかった」と笑みをこぼしました。

3 / **1**

「地元の掲示板『ジモティー』」での再生展示品閲覧・申し込み開始

市と白老町は、クリンクルセンターに搬入された物の中で、再生利用が可能な家具や自転車などを修理し、再生展示品として提供しています。

このたび、循環型社会の実現に向けて株式会社ジモティーと協定を締結したことにより、インターネットで手軽に再生展示品を確認することができ、クリンクルセンターに行くことなく、申し込みまでできるようになりました。ぜひご利用ください。



再生展示品の販売は、年に数回実施しています。今後の予定については、広報のぼりべつや市公式ウェブサイトなどでお知らせします。

3 / **2**

らびもいども読書時間

市立図書館デジタル分館 開館

3月2日(火)、市立図書館に電子図書館『デジタル分館』が開館しました。

インターネット環境があれば、パソコンやスマートフォンなどを利用して、どこでも読書が楽しめる電子書籍。

デジタル分館では、電子書籍ならではの音の出る絵本や絵が動く本のほか、登別ゆかりの人物に関する書籍や10代の若者におすすめの本などもそろえています。

コロナ禍で外出が思うままにできずに「おうち時間」が増える中、電子書籍を借りて、読書時間を楽しみませんか。

デジタル分館の利用方法

- ①デジタル分館にアクセス
- ②利用者IDとパスワードを入力してログイン

利用者ID：利用者カードの番号(ハイフンは不要)
パスワード：西暦の生年月日を8桁にした数字

- ③電子書籍を選ぶ
- ④『借りる』を押す

▶問い合わせ 市立図書館 (☎ 4324)

